



2-2 地震動予測地図

「これまでに実施した強震動評価」

12の断層帯と3つの海溝型地震を強震動評価し、公表しています。 震源断層が破壊される過程を特定できない場合は、複数のケースを想定し、地表の揺れを計算しています。

地震調査研究推進本部ホームページ http://www.jishin.go.jp/main/p_hyo_ka03.htm

平成20年12月現在、糸魚川-静岡構造線断層帯（北部・中部）、森本・富樫断層帯、布田川・日奈久断層帯、三浦半島断層群、山形盆地断層帯、砺波平野断層帯・呉羽山断層帯、琵琶湖西岸断層帯、高山・大原断層帯、石狩低地東縁断層帯、山崎断層帯、中央構造線断層帯（金剛山地東縁-和泉山脈南縁）、警固断層帯（南東部）、宮城県沖地震*および三陸沖北部の地震*、日向灘に関する評価を公表しています。

*この2つの地震については、過去の地震の震度分布等との比較により、予測結果の検証を行っています。

